

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2019-37424(P2019-37424A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-160872(P2017-160872)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月4日(2019.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可変表示を実行するときの背景として、少なくとも第 1 背景と第 2 背景とを含み、
前記第 1 背景では、可変表示が 1 回実行される毎に第 1 背景楽曲を先頭から出力し、
前記第 2 背景では、複数回の可変表示に亘って第 2 背景楽曲を出力し、
前記第 2 背景では、可変表示を開始するときに所定音を出力可能であり、
可変表示中に前記第 1 背景と前記第 2 背景とのいずれか一方から他方に変更可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機 1)であって、
可変表示を実行するときの背景として、少なくとも第 1 背景と第 2 背景とを含み、
前記第 1 背景では、可変表示が 1 回実行される毎に第 1 背景楽曲(例えば楽曲 A)を先頭から出力し、
前記第 2 背景では、複数回の可変表示に亘って第 2 背景楽曲(例えば楽曲 B)を出力し、
前記第 2 背景では、可変表示を開始するときに所定音を出力可能であり(例えば図 2 5 (B))、
可変表示中に前記第 1 背景と前記第 2 背景とのいずれか一方から他方に変更可能である(例えば S 1 7 2 の処理内で背景切替処理を実行可能である)。
このような構成によれば、複数回の可変表示に亘って楽曲を出力する状態であっても可変表示の開始タイミングが認識しやすくなり、遊技の興趣が向上する。
(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る他の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1）であって、

可変表示を実行するときの背景として、少なくとも第 1 背景と第 2 背景とを含み、

前記第 1 背景では、可変表示が 1 回実行される毎に第 1 背景楽曲（例えば楽曲 A）を先頭から出力し、

前記第 2 背景では、複数回の可変表示に亘って第 2 背景楽曲（例えば楽曲 B）を出力し、

、

前記第 2 背景では、可変表示を開始するときに所定音を出力可能である（例えば図 2 5（B））ようにしてもよい。

このような構成によれば、複数回の可変表示に亘って楽曲を出力する状態であっても可変表示の開始タイミングが認識しやすくなり、遊技の興趣が向上する。